



出藍

令和6年9月1日発行
 〒358-0003
 入間市豊岡1-15-1
 埼玉県立豊岡高等学校
 同窓会 会報編集委員会



この度、役員任期満了により会長職を退任いたしました。在任中は多くの会員の皆様方をはじめ、役員の方々や安藤校長先生のご理解ご協力により、会の運営が滞りなくできました事に、心より感謝しております。令和三年の百周年事業の後、木下博会長から引き継いで以降同窓会の健全運営に努めてまいりました。特に新しい時代に向けて組織の構築を重点に取り組んで

私は昭和四十八年三月に豊岡高等学校を卒業いたしました。その後入間市役所に入所し、以来公務員として市民福祉の向上に邁進してまいりました。平成二十五年四月に入間市副市長に就任させていただき八年間務め、令和三年三月に退任

まいりました。とりわけ、今後の同窓会の情報発信基地となるべく、ホームページ担当者を任命。また新理事五名の加入をいただき、次の時代に向けての体制も整いつつあります。友山宏一新会長には、これまで行政職で培ってこられた、高い見識と実行力を発揮され、新たな時代に向けて、この同窓会を導いてくださるものと期待しております。

するまで公務員一筋に歩んで参りました。この度の会長拝命に当たりましては、村野前会長の熱意と情熱を引き継ぎ与えられた使命を全うしてまいる所存であります。今後同窓会といたしましては、会報「出藍」の発行に加えて、同窓会ホームページの充実など新たな情報発信を行い、より身近な同窓会を目指して頑張りたいと存じます。我が豊高は、百五十周年に向けて新たなスタートを切ったところであり、その道のりには、苦難もあると思いますが、同窓生の



これまで支えてくださいました多くの関係者の皆様方にお礼申し上げます。同窓会の限らないご発展をお祈り申し上げます。挨拶いたします。

皆様が思いを寄せていただくことが、豊高の発展に繋がるものと思えます。ぜひ同窓生の皆様には、校歌に出てくる「出藍の誉れ」のごとく、大きく羽ばたいていただき、そこで得た知識、技術を母校の為に、お裾分けしていただければ、ますます我が母校も発展するものと思えます。終わりに、村野前会長には、同窓会発展のためご尽力いただいたことに感謝を申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。

特集

伝説の
ホームルーム発表会

昭和47年に始まり、平成24年まで続いた豊高の名物行事「ホームルーム（HR）発表会」
今回の特集では、学校行事黄金期の豊高で過ごした卒業生の多くが思い出深く記憶し、今や伝説となったこの行事を、改めて振り返ります。



HR発表会

クラス写真
(昭和50年)

HR発表会誕生

第1回HR発表会が開催された昭和47年は、大正9年の学校創立から50年が過ぎ、昭和30年代から40年代にかけて続いた学校施設の拡張も落ち着いた時期でした。

令和2年に発刊された『百年誌 出藍の誉れ』の中には、HR発表会の草創期を知る、小林総一郎氏と星野和敏氏による対談「HR発表会を語る」が掲載されています。

お2人のお話によると、HR発表会誕生の背景には、文化部の発表の場となっていた当時の新入生歓迎会に対して、HR全体で何かできないかという生徒会執行部の思いがありました。その思いに応えようと、小林氏の前任校であった小川高校で行われていた、クラスご

との発表会にヒントを得て提案されたのが、HR発表会です。



発表会終了後に（昭和48年）

クラス対抗の劇発表会

として知られたHR発表会ですが、その第1回目には、寸劇だけではなく、ステージでの合唱を行うクラスも多かったといいます。中学校時代に既に経験があり、親しみやすかったためか、1年生のクラスが合唱を選択する傾向にあったようです。その後は演劇を行うクラスが増えていき、昭和53年の発表会より、全クラ

スが演劇を発表するようになりました。

当初は新入生歓迎会の要素が強かったHR発表会でしたが、年を追うごとに参加する生徒達の情熱は高まっていきました。自ら考え主体的に活動する生徒達、それを応援する教職員達に後押しされる発表会は豊高を代表する行事へと成長していったのです。

全盛期のHR発表会

HR発表会は時代ごとに変遷を遂げており、徐々に新たなルールや技術が加わりました。その「全盛期」とも呼べるのが、1990年代から2000年代であり、この頃在籍した卒業生には、発表会を最も印象深く記憶している方が多くいらっしゃいます。

当時、多くの生徒が青春を燃やしたHR発表会とはどのような行事だったのか。ここでは、2000年代前半の卒業生の回想を元に、発表会の準備から片付けまでを順を追ってご紹介します。

①HR発表会常任の任命

HR発表会の運営を取り仕切るのが「HR発表会常任」の生徒達です。通常、学校行事では一時的に実行委員会などが置かれ、行事の準備期間から本番を経て片付けが終わるまで運営を行う形が一般的です。しかし豊高には、1年間通して行事の計画や内容検討、運営に携わる「常任」という独特の組織がありました。常任は、HR発表会・文化祭・球技大会の3大行事ごとに存在し、全盛期には、常任になって行事を運営したいという思

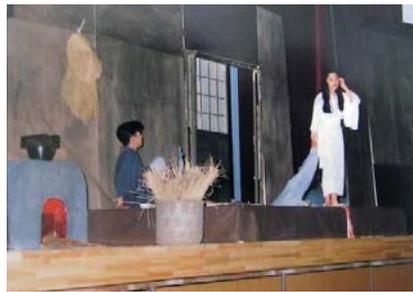
いを胸に、豊高を志望した新入生も少なくありませんでした。

常任は、年度初めに各クラス数名ずつが任命され、行事に関するクラスのとりまとめ役となる他、各常任が集まり、全体的なスケジューリングや道具・材料の割り当て、ルールを守った運営の管理などを行います。その活動は、基本的に生徒の自主性に任されており、上級生から下級生へと受け継がれていきました。

② 演目の決定

一部にイレギュラーな例はありますが、HR発表会は6月中旬に実施される場合が多く、年度当初に常任が決まると、その後はクラスの演目や各生徒の分担決めが始まります。演目の題材は、古典、小説、漫画、映画、ドラマなど、既存の作品

を下地にするものから、完全なオリジナル作品など様々です。ジャンルも、悲劇、コメディ、恋愛、歴史、SF、ミュージカル等多岐にわたります。



舞台風景3-6『つる』(平成3年)

傾向として、物語の終わりに「死が2人を分かつ」タイプの悲恋ものを選ばれる事が多いのも特徴でした。一度きりの青春を謳歌したいという高校生達にとって、刹那的な物語に対する憧れのようなものがあったのかもかもしれません。

題材が決まると、脚本担当の生徒が台本にま

めていきます。クラスの上演時間は10数分程度しかなく、大長編の名作をモデルにすると全く時間が足りません。元が良すぎるのでかえって「名前負け」してしまう事も多々ありました。

③ 生徒の役割分担

発表会の劇は、実際に舞台で演技をする「俳優」と、それに声をあてる「声優」とが分かれている点が独特でした。これは、多くの生徒が劇に参加するための配慮でした。本番で演技と声を合わせるのは難しく、両者のチームワークが重要となります。本番で音合わせに失敗し、悲劇的なシーンなのに笑いが起こってしまうという「悲劇」が発生する事もありました。

また、照明、音響、衣装、小道具、大道具など

もそれぞれ担当を決め、クラスの全員が何かしらの仕事に携わる仕組みになっていました。

④ 大道具造り

クラスで分担が決まると、各担当の準備はすぐ始まり、発表会開催1ヶ月前頃のゴールデンウィーク明けあたりから、動きが速くなってきます。



教室での準備風景 (平成9年)

準備するもののうち、大道具は、劇のインパクトを決める重要な存在で、審査の対象ともなっており、各クラスがその完成度を競いました。巨大な

木や城など、劇の中心となるシンボリックなものや、舞台となる部屋の内装などに凝るのが定番で、3年生が造るレベルの高い大道具は、発表会名物の一つでした。

材料には学校の机や椅子のほか、近所の店から集めてきたビールケースや段ボール、新聞紙、模造紙、お花紙などが使われ、発表会直前になると、近隣からそうした品が一斉に無くなります。年度初めに要領よく近所の店を押さえる者、アルバイト先に交渉して集める者、豊高の勢力外の遠い店まで遠征する者など、どのクラスでも何かしら才能を發揮する生徒が居り、物資不足を助けました。

大道具は、発表会前日に体育館内の指定の場所へ運び込むルールとなっており、それを過ぎてか



舞台風景3-5『十二夜』(平成18年)

らは持ち込めません。運び込む直前まで、クラス総出で制作に取り組むのが常でした。

⑤熱の入った練習
いよいよ本番が近づくと、劇そのものの練習にも熱が入ってきます。特に、声優・俳優の「息合わせ」と、制限時間を意識した時間配分が重要で、生徒達は何度も何度も練習を重ねます。本番直前には、多くの生徒が放課後も遅くまで学校に残り、それでも足らずに近隣の公園などで練習する事もありました。

実際に出演する生徒でなくても、短い暗転時間内での大道具移動など、多くの生徒が息を合わせなければならぬ場面があり、どの生徒も自分の役割を果たすため一所懸命でした。

⑥HR発表会本番

HR発表会は2日間わたって開催されます。これは、全クラスが演劇を発表するようになった昭和53年からの伝統でした。1学年に8クラス、多いときには11クラスあった時代に、全学年全クラスが劇の発表を行うという一大イベントです。発表会では、1クラスあたり、準備・発表・片付けにかけられる時間が20分と決まっています。この時間は常任により厳格に計測され、制限時間オーバーは減点の対象となりました。そのため、



大道具解体風景 (平成7年)

息の合った素早い動きが勝敗を分けました。生徒達は学年優勝・全校優勝を目指して全力で取り組みます。音響や照明に工夫を凝らした様々な演出が光り、インパクトを与える演技は高評価につながりました。

演技が終わると、数分おのちにステージ上を塵一つ残さず掃除します。大道具はすぐに体育館外へ持ち出され、クラス総出で一心不乱に解体します。これが規定時間内に完了しなければ減点対象となるため、勝敗を分け

る重要な要素でした。解体が完了した瞬間にはクラス中が安堵と歓声に包まれました。

そうして、全クラスの演技が終わわり、最後の審査発表では、悲喜こもごものドラマがありました。最後の発表会となる3年生は大変な緊張であり、自分のクラスが呼ばれた瞬間、生徒達は歓声と共にステージに集まります。沢山の生徒達の思い出に残る瞬間でした。

発表会で上級生が見せるレベルの高い演技や演出、大道具などに下級生は圧倒され、それを越えたいという思いのもと、技術は次の世代へと受け継がれていったのです。

HR発表会の「終演」

豊高の名物行事と言えたHR発表会でしたが、

それは、生徒の自主的な行動と学校側の余裕とに支えられていました。しかし、時代を経るにつれ、発表会を支えていたそれら2つの柱は徐々に薄れていく事になります。発表会を担うリーダーの不在や生活上の問題、教員への負担など、行事実施にあたっての課題は増えてゆきました。

脈々と受け継がれてきた発表会でしたが、平成25年度の単位制移行に伴う行事の精選によって削減が決定。平成24年5月16・17日をもって「終演」を迎えます。それは、豊高にとって、一つの時代の終焉を象徴する出来事となりました。

今や歴史となったHR発表会。最後の演技から10年以上を経た今、もう一度思いをさせてみてはいかがでしょう。

思い出語り



お世話になった豊高

野口隆司(昭52高卒)



右上が私

駅からの坂道左手には
ファルコンフィールドと
書かれたフットボール場
があった。正門の時計は
いつも7時15分。体育館
は中学校とは比べものに
ならないほど広く、舞台
側が私の所属した卓球部
の練習場だった。隣では
体操部、剣道部がいつも
練習をしていた。弁当と
学食の一日二食。学食二
階に寝泊りした夏の合宿
は良き思い出である。良
い成績が残せなかったこ

と、家庭の事情で最後ま
で続けられなかったこと
は悔いが残っている。

お世話になった先生に
は個性あふれる方が多
かった。特に英語の時間
は楽しかった。その影響
を多分に受けた私は、そ
の後英語教師の道を選ん
だ。文化祭や卒業式等に
母校を訪れた時には、当
時の思い出が蘇ってきた。

最後まで続けた

部活動

城尾祐衣(平29高卒)



アーチェリー部の入部
の切っ掛けは、試合で常
に表彰台上がる先輩方
に憧れたこと、珍しい部
活でかっこいいと思った
ことです。しかし私は
中々上達せず、3年次生

になり同級生が引退する
中、挑戦する気持ちがあ
り部活を続けました。最
後の試合も4位で1歩届
かず入賞出来なかった悔
しさはありましたが、最
後までやり遂げられた達
成感がありました。最後
の試合をきっかけに大学
の監督から声をかけて頂
いたことは、とても嬉し
く衝撃的でした。それと
同時に「最後まで続けて
良かった報われた」とも
思い、大学でもアーチェ
リーを続けられました。

部活の練習は休日の校
庭・他校での70m、平日
の30mの練習など環境に
も恵まれていました。筋
トレなどは大変でしたが
真剣に打ち込めるのも高
校時代ぐらいだと思いま
した。私は人見知りです
が、先輩に教えた経験は
今の仕事に役立っていま
す。「合わないから変え

る」という判断もあると
思いますが、「失敗して
も粘って続ける」もまた
学生の特権だと改めて
思っています。



コロナ禍を超えた

同窓会

今井利加子(昭56高卒)

サッカーワールドカッ
プの年に開催しようと
2014年から3回目の
2022年に予定してい
た同窓会でしたが、コロ
ナ禍のため1年延期し
2023年10月14日に昭
和53年4月入学の3年5
組同窓会を行いました。
卒業からトータル6回目
です。

今回は、還暦の節目と
なる同窓会でクラスの枠
を外し連絡の取れる同級
生にも参加してもらおう
と声をかけ、担任の星野
和敏先生と17名の同級生

が集まりました。会った
瞬間からお喋りが始まり、
近況報告や昔話で一次会
だけではとても話しきれ
ずそのまま二次会へと続
きました。今回都合で参
加したくてもできなかった
人もいたので、次は更
に参加者を増やして開催
しようとみんなで話し合
い、改めて豊高で共に過
ごした3年間で一人ひと
りかけがえのないもので
あったことを感じるひと
ときでした。

以前の同窓会で星野先
生がおっしゃった言葉が
忘れられません。「同窓
会はかつての自分に出会
えるところです」



卒業生からの手紙



豊高に誇りを持って

仲川 幸成 (昭35高卒)

弁論部への入部

私が豊岡実業高校農業科に入学したのは今から六十七年前で、入曾から自転車で二十分の通学でした。堀兼中、富岡中からの生徒も同じ道なのですぐに友達になりました。そこでA先輩に誘われ弁論部に入りました。

当時部活の勧誘は厳しく怖く、どこかに入部するまで勧誘攻めです。弁論部はやさしい先輩が多く、礼の仕方に始まり、原稿の書き方、声の出し方、壇上の態度まで事細かく教えられたので、私自身似合いのクラブでした。一週間も経たないう

ちに六月に開かれる四校対抗の原稿を書いて来いと言われ、私は「二十世紀の悲劇」と題し基地伝いに通学していること、

学校は基地に隣接していること、広島長崎のこと、戦死した父のことなどを原稿にしたところ、「これでよいから、しっかり暗記しなさい」との事。

まさか新人の私が選手とは思ってもよらないことでした。その後県大会や関東甲信越大会等を経験。

私が弁論部員であることは、地元で知る人も多く卒業後は地区体育祭の司会、選挙の遊説隊長などを頼まれたのは、豊高弁論部のお陰でした。

学校農業クラブ

また、県下の農業高校十一校で構成された学校農業クラブもA先輩の後任として二年生後半より活動に参画したがプロジェクト発表や各種競技では川越・熊谷・杉戸の専門農高には歯が立ちません。何とか豊岡の名を示したいとレクリエーションに「茶ッ茶小唄」を踊りました。背景を家庭クラブにお願いして緑の茶畑を描き、舞台には比較的小柄の一年生を集めて見事一位で千葉県鴨川の関東大会に初出場でき豊高農業科の存在と面目を保ちました。

農商兼修

私自身一番役立ったのは農商兼修で珠算、簿記、商業一般では株取引まで教わりました。商業を修

部活動訪問 (第15回)

サッカー部



副部長 村田 凱都

令和5年度豊岡高校

サッカー部は、共に鳴き・共に闘う「共鳴共闘」をスローガンに掲げ日々活動しています。新人戦・高校総体・選手権予選などの大会で県ベスト16以上、春から秋にかけて行われる高円宮杯U18リーグ戦では昇格を目標にしています。時には、苦しい事や辛い事もありますが、部員1人1人が高め合い乗り越えることが出来ています。部活動だけではなく、学業の面でも明確な進路目標を持ち、日々の限られた勉強時間を大切に文武両道を心掛けていきます。

令和5年度豊岡高校サッカー部は、高校総体・選手権予選で共に県大会出場、高円宮杯埼玉県西部支部2部の残留という結果を残しました。目標達成とはいきませんでした。3年連続で県大会出場を果たすなど、地道に力を付けてきています。近年猛威を振るった、新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、日常を取り戻し始めています。大会では、今まで制限されていた声出し応援も再開させるなど、盛り上がりを見せています。サッカーが出来ることは当たり前ではありません。顧問

詩人吉野弘との出会い

得したことは、茶業経営に入った私に大きなプラスでした。

学校には県下唯一の工場があり興味を持った私は卒業後学校の隣接地の茶業研究所の講習を経て、翌年父と共に製茶工

場を始めました。

茶畑を増やすため取り木による苗木生産の作業をしている時でした。その作業をじっと見据えていた方が、私の傍らに来て「何をしているのですか」と声をかけて来ました。聞けば最近この近くに越してきたとのこと正

んは聞き漏らしたことや理解納得がいかないこと

は翌日おさらいにも来ました。しばらくして一冊の詩集「北入曾」を持って我が家に来た時、初めて詩人吉野弘であることを知りました。私との会話はその中の「茶の花おぼえがき」ですが、何よりも彼の心に衝撃を与えたのは成熟成長（生殖成長のこと）です。この言葉は当時先生から教わったのか、それとも居眠りしながら私が間違えて覚えてしまったのか、今では詮索するすべもありませんが、彼は狭山に住んで自然や植物、その生命を題材に沢山の詩を残しています。

体を知らない私は随分暇なおじさんだと思いましたが、高校の農業課程で教わった作物、花、野菜、果樹、土と肥料など植物の生理について毎日のように授業の受け売りをしました。おじさ

よき師よき友に恵まれた豊高は私の人生の起点です。



の先生や保護者の方々、大会運営に携わる多くの方々を支えられて成り立っています。そのような方達に、恥じることのないプレーを心掛けていきます。感謝の気持ちを忘れずに、また一生に一度の高校サッカーを最高のものにできるように、目標に向かい部員一同頑張ります。私たち、サッカー部への温かいご声援をお願い致します。



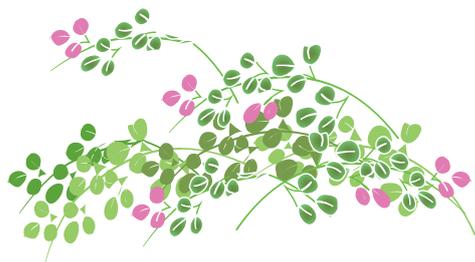


元日から能登半島地震が起こり、翌日には航空機事故で旅客機が延焼するという大きな出来事から令和6年が始まりました。今年はどうな年になるのか期待も込めていた折、シヨッキングな出来事でした。被災された方、事故にあわれた方に心からお見舞い申し上げます。

2月の入学者選抜において、本校では、志願倍率がここ数年にはない高い数値となりました。これもひとえに同窓会の皆様のご理解とご支援のおかげであると、感謝申し上げます。もちろん、生徒はよく頑張りました。今も本当に頑張っています。昨年度は新型コロナウイルスが第5類に移行し、学校生活において新型コロナウイルス感染拡大以前の元気を取り戻すことを目標に進めてまいりました。生徒たちの頑張りにより、すべての学校行事を盛大にしかも、かつてないほどの賑わいを見せて終了することができました。文化祭の来校者は過去最多でした。体育祭も平日にもかかわらず、多くの保護者に来ていただきました。修学旅行は1人の欠席も病気

もなく無事に行ってまいりました。充実した1年だったと思います。今年の入学式では318名が入学しました。私からは、本校の校訓である「自律・勤勉・進取」について話しました。本校の100年を超える伝統を継承し、さらに発展させていくために自ら進んで取り組む人になってほしいと伝えました。始業式では新2、3年生に「モチベーションを保つために、しっかりとした目標を立て、失敗を恐れず、どんどんチャレンジしてみてください」と話しました。今年度は1年次生から3年次生まですべての生徒がリクルート社のスタディサプリを導入しました。自分の希望する大学の入試対策や学習到達度に応じた学習ができます。本校の

歴史と伝統を引き継ぎ、地域の期待に応える進学校としてさらに飛躍していくためにも、同窓会の皆様におかれましては今後ともますますのご健勝をご祈念申し上げますとともに、今後も本校へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年度卒業 同窓会クラス代表

1組	清水 壮 騎	横 瀬 世 莉 菜	5組	島 崎 慶 吾	西 村 優 花
2組	小 室 永 輝	関 根 晴 和	6組	佐 藤 七 生	長谷川 茉 美
3組	石 平 晴 菜	中 出 こ ころ	7組	富 山 遥	安 岡 万 都 花
4組	◎土 屋 真 奈	服 部 心 音	8組	豊 田 史 哉	◎小 林 夕 桜

◎は年次代表

この度は豊岡高校同窓会に入会させて頂きありがとうございます。第74期生徒会長を務めました、佐藤匠です。今後ともよろしく願います。このような機会を頂き、3年間を振り返ってみると、一瞬の出来事だったかのように感じられます。1年次では、新型コロナウイルスの影響で分散登校の期間があったり、豊高祭は校内公開であったりと高校生活に不安を抱く生徒も多かったですが、2年次からは、行事の制限も徐々に緩和され、生徒たちの不安も解消され

ていったように思えます。3年次では、豊高祭も3年ぶりの一般公開で過去最多の4千人を超える来場者にお越し頂きました。コロナ禍を共に乗り越えた豊高生の絆は更に強固なものになってきていると思います。そこで豊高生の皆さんには更なる魅力の溢れる豊岡高校を作り上げていただきたいと思います。最後になりますが、今後の豊岡高校の益々の発展を微力ながら支援していきたいと思えます。どうぞよろしく願います。



進路指導部より

令和6年度入試の結果をお知らせします。

今年度は4回目の大学入学共通テストとなり出題傾向も少しずつ安定してきました。コロナ禍は落ち着いてきましたが、インフルエンザが流行する時期もあり、不安を抱えながらの受験もあったと思います。生徒は3月まで頑張り続けました。国公立大学は過年度生で1名の合格者ができました。

令和6年度入試合格者数（過年度卒含む）				
四年制大学	短期大学	専門学校 (看護医療系)	専門学校 (看護医療系除く)	就職・公務員
346	10	19	38	4

～主な合格先～

【四年制大学】（延べ人数）

国立 鳥取大（過年度生：1名）

GMARCH（中央1名、法政6名）…計7名

成成明武（成蹊4名、武蔵3名）…計7名

日東駒専（日本8名、東洋7名、駒澤1名、専修6名）…計22名

大東亜帝国（大東文化22名、亜細亜15名、帝京28名、国士舘12名）…計77名

※その他多数合格、詳細は豊岡高等学校ホームページでご確認ください。

【就職・公務員】

警視庁、埼玉県警など

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	40,596	
2 事務費	1,084,762	会報16号印刷代、送料等
3 予備費	0	
合 計	1,125,358	

上記のとおり令和5年度決算報告をいたします。

令和6年6月28日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 村野 志朗

上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

令和6年5月24日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

3 会長及び常任理事の承認と監事の委嘱について

会長	友山 宏一	昭和48年卒
監事	西澤 明	昭和53年卒
常任理事	晝間 秀子	昭和55年卒
常任理事	市川 一博	昭和57年卒

4 令和6年度事業計画

(1) 会議等

○常任理事会 令和6年6月28日

於：魚いち

(2) 同窓会報の発行

第17号 令和6年9月発行予定

(3) 文化祭参加 令和6年9月7日、8日予定

(4) 同窓会入会式説明 令和7年3月7日予定

(5) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(6) 第77回卒業式出席 令和7年3月8日予定

(7) 賛助金の受付

・金額：一口 1,000円

・方法：ゆうちょ銀行に開設した口座に振込

名義「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」

(8) その他

5 令和6年度予算

(1) 一般会計の部（普通預金）

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 会 費	3,050,000	10,000円×305人（6年度卒業生）
2 賛助金	200,000	1,000円×200口
3 繰入金	0	一般会計の部(定期預金)から繰入
4 雑 入	659	預金利息

5 繰越金	3,848,341	前年度から繰越
合 計	7,099,000	

(支出) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 会議費	250,000	常任理事会経費
2 慶弔費	100,000	慶弔費
3 事務費	500,000	事務局使用料、HP 管理料等
4 卒業生費	150,000	卒業証書ケース代
5 激励費	800,000	関東・全国大会等出場激励費
6 講師謝礼費	50,000	講演講師謝礼
7 積立金	3,000,000	定期預金へ
8 支援費	0	
9 周年行事費	0	
10 繰出金	1,206,000	同窓会報特別会計の部へ繰出
11 予備費	1,043,000	
合 計	7,099,000	

上記のとおり提案いたします。

令和6年6月28日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 友山 宏一

(2) 一般会計の部（定期預金）

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰越金	8,000,085	
2 繰入金	3,000,000	一般会計より
3 預金利息	915	
合 計	11,001,000	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰出金	0	
2 定期預金	11,001,000	
合 計	11,001,000	

上記のとおり提案いたします。

令和6年6月28日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 友山 宏一

(3) 特別会計の部

(収入) (単位：円)

科 目	予算額	摘 要
1 繰入金	1,206,000	一般会計の部繰出金より
2 雑 入	644	預金利息
3 繰越金	413,356	前年度からの繰越
合 計	1,620,000	

(支出) (単位：円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	100,000	編集委員会会議費
2 事務費	1,400,000	会報・封筒印刷・送料
3 予備費	120,000	
合 計	1,620,000	

上記のとおり提案いたします。

令和6年6月26日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 友山 宏一

令和6年度 常任理事会報告

過ぐる令和6年6月28日、「埼玉県立豊岡高等学校同窓会」令和6年度常任理事会を魚いちで開催、無事終了いたしましたのでその概要をお伝えします。

議 事

1 令和5年度 事業報告

(1) 会議等

○常任理事会 令和5年6月26日

(2) 同窓会報の発行

第16号 令和5年9月1日発行

(3) 文化祭参加 令和5年9月9日・10日

(4) 同窓会入会式説明 令和6年3月8日

(5) 卒業生全員に卒業証書ケース贈呈

(6) 第76回卒業式出席 令和6年3月9日

(7) 関東・全国大会出場選手等の激励

- ・ 関東高等学校アーチェリー大会 9名激励
- ・ 全国高等学校総体アーチェリー競技 4名激励
- ・ 関東陸上競技選手権大会 2名激励
- ・ 世界選手権出場 佐藤拳太郎(平成25年卒)激励
- ・ 関東高校選抜新人陸上競技大会 2名激励
- ・ かごしま特別国体アーチェリー大会 1名激励
- ・ バトントワリング関東大会 10名激励
- ・ 関東高校選抜アーチェリー大会 7名激励
- ・ 全国高校選抜アーチェリー大会 3名激励

(8) 同窓会会報賛助金の受付

2 令和5年度 決算報告及び監査報告

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(1) 一般会計の部 (飯能信用金庫 入間支店 普通預金)

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)
8,139,084円 - 4,290,743円 = 3,848,341円

(収入) (単位:円)

科 目	金 額	摘 要
1 会 費	3,089,230	10,000円×309人(5年度卒業生) - 振込手数料
2 賛助金	231,000	1,000円×231口
3 繰入金	0	
4 雑 入	31	預金利子
5 繰越金	4,818,823	前年度から繰越
合 計	8,139,084	

(支出) (単位:円)

科 目	金 額	摘 要
1 会議費	126,087	常任理事会経費
2 慶弔費	10,000	役員慶弔費

3 事務費	96,836	HP更新作業費、はがき、切手代等
4 卒業生費	127,820	卒業証書ケース代
5 激励費	430,000	関東大会・全国大会等出場激励費
6 講師謝礼費	0	
7 積立金	3,000,000	定期預金へ
8 支援費	0	
9 周年行事費	0	
10 繰出金	500,000	同窓会特別会計の部へ繰出
11 予備費	0	
合 計	4,290,743	

上記のとおり令和5年度決算報告をいたします。

令和6年6月28日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 村野 志朗

上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

令和6年5月24日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

(2) 一般会計の部 (定期預金)

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)
8,000,085円 - 0円 = 8,000,085円

(収入) (単位:円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰越金	5,000,000	
2 繰入金	3,000,000	積立金より
3 預金利子	85	
合 計	8,000,085	

(支出) (単位:円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰出金	0	
2 定期預金	0	
合 計	0	

上記のとおり令和5年度決算報告をいたします。

令和6年6月28日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 会長 村野 志朗

上記決算を監査した結果、正確にして相違ないものと認めます。

令和6年5月24日

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 長谷部 安

埼玉県立豊岡高等学校同窓会 監事 西澤 昇

(3) 特別会計の部 (いるま野農協 東金子支店 普通預金)

収入済額 支出済額 残額(翌年度へ繰越)
1,538,714円 - 1,125,358円 = 413,356円

(収入) (単位:円)

科 目	金 額	摘 要
1 繰入金	500,000	一般会計の部繰出金より
2 雑 入	7	預金利子
3 繰越金	1,038,707	前年度からの繰越
合 計	1,538,714	

平成28(2016)年3月～令和2(2020)年3月卒 今後の「出藍」送付について

**卒業生
必読**

卒業生のみなさんは、豊岡高校を卒業後各方面でご活躍のことと推察いたします。豊岡高校の百周年事業はコロナ禍の中ではありましたが、実施することが出来ました。これも皆さんが卒業時に納めた同窓会費を使わせていただいたからこそ出来たと感謝しております。また、同窓会報「出藍」も皆さん全員にお届けしておりますが送付費用等がかさみ今後卒業生全員に送付することが難しくなりました。そこで卒業後5年を経過した方の送付は希望者のみさせていただくことにいたしました。今後同窓会報「出藍」の送付を希望する場合は、左記のいずれかの方法で同窓会事務局までご連絡ください。

①ホームページより連絡



②メールまたはファックスにて連絡

↓このページの左記を参照

なお、同窓会会報「出藍」は、同窓会ホームページでも見ることが出来ますので是非ご利用ください。

発行所 〒三五八一〇〇〇三 埼玉県入間市豊岡一―一五―一

埼玉県立豊岡高等学校 同窓会報編集委員会

TEL〇四―二九六―二五二二六 FAX〇四―二九六―〇一―〇五三
メールアドレス #625216@pref.saitama.lg.jp
ホームページ https://toyokodoso.org/



事務局だより

ホームページの充実を図るため担当の理事が決まりました。皆様の情報提供をお待ちしております。詳しくはホームページをご覧ください。文末のQRコードからアクセスできます。始めたばかりですのでその活用方法については模索中です。同窓生の皆様のご意見ご要望もございましたらお知らせください。



賛助金のお礼

令和5年度は二十三万一千円のご厚志を頂きました。会報発行の為に有意義に使わせていただきます。ありがとうございます。

一利美康洋 勝守恵晴光 友山宏一 木口林永平 山野大 木小竹野平 宏清 木小竹野平 委員 宏哲子幸 浩和 足立田誠孝 美和 黒高原中本 山田美和 橋本美和 廣瀬いづみ

新役員をご紹介します

就任
会長 友山宏一氏 (昭48高卒)
監事 西澤 明氏 (昭53高卒)
常任理事 晝間秀子氏 (昭55高卒)
常任理事 市川一博氏 (昭57高卒)
退任
木下 博氏 (昭26高卒)
仲川幸成氏 (昭35高卒)
村野志朗氏 (昭40高卒)
大野 満氏 (昭41高卒)
長谷部安氏 (昭45高卒)
長い間ありがとうございました。

文化祭へお越しください

9/7(土) 9/8(日)
3号館1階図書館にて、同窓会が写真や「ゆたか」の展示を行っています。

訃報

本会常任理事、高山雅男氏(昭47高卒)が九月二十八日逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

▼編集委員になって8年目を迎えました。毎年号先輩方の生活体談や報告、貴重な資料が寄せられます。豊高の歴史と人をつなぐ大切な仕事として編集作業に携わりたいと思います。

この仕事を生成AIに奪われないようにがんばります。(美)

▼今年も豊岡高校には受験を勝ち抜いた新入生が入学してきました。入学式の前には、在校生がピラを作り、部活動へ勧誘する姿が見られました。多くの生徒が部活動に入部し、賑やかな日々が始まっています。各部がHPを更新していますので、卒業生の皆さん、ぜひご注目ください。(走)